



今月二十日まで緊急事態宣言が県内に発令されました。まだまだ予断を許さない状況です。このような時こそ、お寺やお仏壇で祈りましょう。

南無大師遍照金剛 良啓

真言宗寺院では、必ず勤行時に「南無大師遍照金剛（なむだいしへんじょうこんごう）」と唱えます。意味は

南無 ↓ 帰依する。信じます

大師 ↓ 弘法大師の略

遍照金剛 ↓ お大師様の異名。闇（不安）を照らし、揺るがない

浄土宗や浄土真宗の「南無阿弥陀仏（なんまいだ）」、日蓮宗の「南無妙法蓮華経（なんみょうほうれんげきょう）」を聞いた事があると思いますが、真言宗の場合は南無大師遍照金剛になります。この大師宝号を色々な人が色々な目的や悩みの為に千年以上唱えてきました。

子供の頃、お寺の子ですがお経は一切唱えられませんでした。唯一、この宝号だけは覚えられました。八文字と短いので、簡単に覚えられたのでしよう。道端で動物の死骸を見かけた時、供養の為に微音で唱えていました。

大事なことや災害は急に降りかかります。事前準備や心構えが間に合わない事は多々あります。そんな時でも大師宝号でしたら、誰でも何時でも何処でも唱えられますね。

出口の見えない新型コロナウイルスの猛威に心が休まらない日々が続いています。その様な時に心の拠り所として、宝号を唱えてみては如何ですか？大きな安心感に包まれることをお約束します。千年の歴史が保証します。



弘法大師空海生誕祭

寺務員 伊計

6月15日は、真言宗を開いた弘法大師空海の誕生の日です！様々なエピソードや伝説が残っているお大師様ですが、私が特に印象に残っているものがあります。それは、捨身ヶ嶽伝説です。

「——真魚（空海の幼名）少年が7歳になったとき、家の近くの山に登り、「わたしは将来、仏の道で多くの人を救いたいと思っています。この願いがかなうなら命を救ってください」と祈って身を投げた。するとどこからともなく釈迦如来と天女が現れ、真魚の身体をひらりと受け止めた。真魚はそれを三度も繰り返したが、その度に天女が現れ、傷ひとつ負わなかったという——」

この舞台となったのは香川県にある我拝師山。命を救われ、願いが叶うことを示されたお大師様は、青年になって、我拝師山の山頂で虚空蔵菩薩像を刻んで安置し、お堂を建てたといわれています。そのお寺が、四国八十八ヶ所の各札所の一つである第73番札所 我拝師山 求聞持院 出釈迦寺です。このように、幼少期から様々な伝説が残っているお大師様。1200年経った今でも各地に数々の伝説が語り継がれ、残っております。そのお大師様が残した伝説の足跡を辿る巡礼の旅、お遍路…！コロナが落ち着いたら、是非とも行ってみたいものです。

また、神宮寺では6月13〜17日はお大師様の像を祀りお祝いいたします。ぜひお大師様とご縁を結びにいらしてください。

